

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室
 TEL 03-5253-8111 内線 42353
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成20年7月31日

リコール届出番号	2169	リコール開始日	平成20年8月1日
届出者の氏名又は名称	富士車輛株式会社 取締役社長 津田弘史	問合せ先 電話	車輛品質管理グループ 077-582-8733
不具合部位	制動装置（オートマチックスラックアジャスタ）		
基準不適合状態にあると認められる構造、装置又は性能の状況及びその原因	<p>①ホイールハブにおいて、アウトバアリングの保持力が不足しているため、圧入面で滑りが生じ、ホイールハブが摩耗するものがある。そのため、そのままの状態で行き続けると、ホイールハブとアウトバアリングの隙間が大きくなり、最悪の場合、アウトバアリングが破損し、走行不能となるおそれがある。</p> <p>②オートマチックスラックアジャスタ（主制動装置の回転部分のすき間を自動的に調整する部品）のコントロールアームの固定方法が不適切なため、当該アームに亀裂が発生する可能性がある。そのため、そのまま使用を続けると、当該アームが折損し、主制動装置の回転部分のすき間を自動的に調整する機能が失われ、当該車輪の制動力が低下するおそれがある。</p>		
改善処置の内容	<p>①ホイールハブを対策品と交換する。</p> <p>②オートマチックスラックアジャスタのコントロールアームを対策品と交換する。</p>		
不具合件数	0件	事故の有無	なし
発見の動機	車軸メーカーからの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・ 自動車分解整備事業者：全使用者を把握している為、周知のための措置はとらない。 ・ 改善実施済車には、車台番号打刻位置付近にNo. 2169のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車のシリアル番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
富士車輛	FTL134PL	セミトレーラ	FTL134PL-008～FTL134PL-011 平成12年11月6日～平成16年1月20日	4	① 4台 ② 4台
富士車輛	FTL127PL	セミトレーラ	FTL1279PL-002 平成13年2月19日	1	① 1台 ② 1台
富士車輛	FTL139PL	セミトレーラ	FTL139PL001～FTL139PL-002 平成13年2月19日～平成13年7月15日	2	① 2台 ② 2台
富士車輛	FTL145PL	セミトレーラ	FTL145PL-001 平成15年12月20日	1	① 1台 ② 1台
	計4型式	計1車種	（製作期間の全体の範囲） 平成12年11月6日～平成16年1月20日	計8台	① 8台 ② 8台

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。